



提供：UNITED VOICES + SAYPE

「富士市中央公園に平和を願って、仏人ランドスケープアーティストSAYPE氏によって描かれた120m×25mの地上絵」（詳しくは富士市HP→市政情報→平和推進をご覧ください）



第35回 平和のための 2023

富士戦争展

戦争をやめて！ 平和な世界を

8月10日(木)～15日(火)

午前9時～午後5時 ロゼシアター展示室（入場無料）

10日午前10時会場入り口で「開会式」を行います

*同時開催 富士市事業「中学生広島市派遣事業」に関する展示（特別展示室）

主催 核兵器廃絶平和富士市民の会 後援 富士市・富士市教育委員会

沖縄の今を知る写真展

今、沖縄の島々に急ピッチで自衛隊の基地が作られています。世界遺産もある豊かな自然と人々の暮らしが軍備によって壊されている様子を、私たちはどれだけ現実としてとらえているでしょうか。まずは知ってそして考えましょう。

● また、「沖縄が戦場になる」って本当？

沖縄では78年前激しい地上戦がありました。沖縄戦です。その島々に、いま自衛隊の基地や弾薬庫などが作られ、日米共同の軍事訓練も行われています。住民は「また沖縄が戦場になるの？」と心配しています。過去の沖縄戦と現在の沖縄の姿から『戦争』について考えます。

● 核兵器のない平和で公正な世界へ

核兵器の廃絶へ、被爆を語り継ぐ広島の高校生の絵

核兵器禁止条約発効から2年、核のない世界に進もうと各国で批准が進んでいます。戦争の終息を願う各地の様子を取り上げます。

● 今こそ、日本国憲法の「平和主義」を守り抜こう！

第二次世界大戦後も世界の各地で戦争は勃発しています。

今、出されている改憲案を検討します。

● 戦争について考えてみよう(NHK for schoolより)

「戦争中の暮らし」「戦争中の子どもたち」「原爆の記憶」などの上映と解説を行います。

● 特高警察による反戦平和・自由の弾圧—富土地域の弾圧事件を見る

富土地域でおきた3つの事件をとりあげます。1938年の文芸雑誌『東海文学』の青年たちの検挙(大宮町)、1942年の生活綴方教育の先生たちへの弾圧(富士川町、興津町、沼津市)、1945年の反戦投書事件(富士町)。メインは生活綴方教育弾圧事件。80年前の事件を伝える富士川小の「児童文集」や沼津の「留置場歌集」を発掘し、紹介します。

● 銃後と兵事係の仕事

勤労奉仕・慰問袋・村葬など戦時中の役場の公文書から出征兵士と銃後社会の関係を明らかにします。少年特攻隊員戦死の事例を紹介し、ふたたび戦争で若者の命を失うことがないように考えましょう。

● 「いつも笑顔で・・・」

笑顔が生まれ、笑顔がつたわり、笑顔があふれる「せかい」わらべ歌あそびをいっしょにたのしみましょう。

市内児童生徒の作品を展示します。

2023「平和を学ぶ講座」遺跡と記録から戦争と平和を学ぶ

● 伝法まちづくりセンターにて午前9時半～

● 講座日程:9月3日(日)、16日(土)、10月8日(日)、14日(土)、11月11日(土)

◎バスツアー(市内戦跡めぐりフィールドワーク) 11月3日(金・祝日)

会場・講座時間が変更になる場合があります。担当者にお問い合わせください。

申込み/問い合わせ先:土屋(TEL/FAX 0545-71-4016)・山崎(携帯 090-2948-2801)

富士市歴史民俗資料館 2階「戦争と暮らし」コーナーでは2024年1月まで

「アジア太平洋戦争で戦死、戦傷した兵士たち」を展示しています。(月曜日は休みです)

核兵器廃絶平和富士市民の会〈事務局〉090-2847-9305(堀川)

中学生広島市派遣事業 活動報告

今年度初開催の本事業に関する活動報告を、第35回平和のための富士戦争展と同時開催します。以下のような写真パネルのほか、研修生が事後研修で制作した掲示物、研修を終えての感想文などを掲示します。ぜひご覧ください。

写真パネル (例)

